

## テオドール顆粒 20%、テオドール錠 50mg

### 【この薬は？】

販売名	テオドール顆粒 20% Theodur Granules 20%	テオドール錠 50mg Theodur Tablets 50mg
一般名	テオフィリン Theophylline	
含有量	200mg (1g 中)	50mg (1錠中)

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、キサンチン系気管支拡張剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、気管支の拡張、呼吸中枢の刺激などの作用により、気管支喘息、喘息性（様）気管支炎による息苦しさ等の諸症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

#### 気管支喘息、喘息性（様）気管支炎

- ・小児の喘息性（様）気管支炎は発熱を伴うことが多く、発熱時に服用すると、けいれんがあらわれやすくなります。このため、喘息性（様）気管支炎に使用する場合には優先して他の薬が使用されることがあります。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にテオドール顆粒、テオドール錠または他のキサンチン系薬剤で重篤な副作用を経験したことがある人
- ・12時間以内にアデノシン（アデノスキャン）を使用する人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・てんかんの人
- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・うっ血性心不全の人
- ・急性腎炎の人
- ・肝臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬 [アデノシン（アデノスキャン）] や、併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。特に小児においては最新の情報に基づいて飲む量が決められます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名		テオドール顆粒 20%	テオドール錠 50mg
成人	一回量	1g	4錠
	飲む回数	1日2回	1日2回
小児	一回量	0.5～1g	2～4錠
	飲む回数	1日2回	1日2回

### 〔気管支喘息に使用する場合〕

成人では、テオドール顆粒 20%として1回 2g、テオドール錠 50mg として1回 8錠を1日1回就寝前に飲むことがあります。

### ●どのように飲むか？

通常、朝および就寝前に、コップ1杯程度の水またはぬるま湯でかまらずに飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲む間隔を短くするのも避けてください。副作用があらわれやすくなります。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

消化器症状（吐き気、嘔吐（おうと））、精神神経症状（頭痛、不眠、不安、興奮、けいれん、せん妄、意識障害、昏睡など）、心・血管症状（頻脈、不整脈、血圧低下など）、低カリウム血症（体に力が入らない、体が動かさない、息苦しい、お腹が張るなど）、呼吸促進、横紋筋融解症（手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、

筋肉の痛み、尿が赤褐色になるなど) の症状があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれたら、ただちに使用を中止し、受診してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用中は、薬剤の血中濃度を定期的に測ることがあります。
- ・小児（特にてんかんおよびけいれんを経験したことがある小児、発熱している小児、6 ヶ月未満の乳児）では、薬剤の血中濃度の上昇やけいれんなどの症状があらわれることがあるため、投与量の減量または投与の中止をする場合があります。お子様の状態を十分に観察し、発熱や異常が認められた場合には速やかに医師または薬剤師に相談してください。
- ・小児では一般に副作用であらわれる自覚症状を訴える能力が劣るので、保護者の方はお子様の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には速やかに医師に連絡してください。
- ・カフェインを多く含むコーヒーや紅茶などを多飲すると、副作用があらわれることがあります。
- ・たばこやセイヨウトドリソウ (St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品が薬の効果に影響を与えることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合には、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

### 〔テオドール顆粒 20%の場合〕

便に白い粒子が排泄されることがありますが、これは添加物の一部です。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、意識の消失
急性脳症 きゅうせいのうしょう	意識の低下、意識の消失、考える力の低下、記憶力の低下、異常な行動、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
消化管出血 しょうかかんしゅっけつ	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または

	黒褐色)、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る
赤芽球癆 せきがきゅうろう	体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸(どうき)、息切れ
アナフィラキシー ショック アナフィラキシーショック	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、冷汗が出る、めまい、顔面蒼白(そうはく)、手足が冷たくなる
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
頻呼吸 ひんこきゅう	呼吸が荒い、呼吸が速い
高血糖症 こうけつとうしょう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	顔や手足の筋肉がぴくつく、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く、脱力感、体がだるい、ふらつき、冷汗が出る、疲れやすい、力が入らない、体がかゆくなる、体重が減る
頭部	一時的にボーっとする、意識の低下、意識の消失、考える力の低下、記憶力の低下、異常な行動、めまい、頭痛
顔面	顔面蒼白
眼	白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる(赤色～茶褐色または黒褐色)、喉のかゆみ、喉が渇く、水を多く飲む
胸部	動悸、息切れ、呼吸が荒い、呼吸が速い
腹部	腹痛、食欲不振
手・足	手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、手足のこわばり、手足のしびれ、手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉の痛み
便	便に血が混じる、黒い便が出る
尿	尿が赤褐色になる、尿の色が濃くなる、尿量が増える

## 【この薬の形は？】

販売名	テオドール顆粒 20%	テオドール錠 50mg
性状	無臭・甘味でわずかに苦味が残る	—
形状	徐放性顆粒 	徐放性錠剤 
分包／PTPシート		
直径	—	6.0mm
厚さ	—	3.7mm
重さ	—	113mg
色	白色	白色
識別コード	—	THEO-DUR50

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	テオドール顆粒 20%	テオドール錠 50mg
有効成分	テオフィリン	
添加剤	ステアリン酸カルシウム、トウモロコシデンプン、ヒプロメロース、エチルセルロース、ヒプロメロースフタル酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル、白糖	エチルセルロース、乳糖水和物、ステアリン酸カルシウム、無水ケイ酸

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：田辺三菱製薬株式会社

(<http://www.mt-pharma.co.jp>)

くすり相談センター

電話：0120-753-280

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、会社休業日を除く)